

# '15.6

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工連会  
代表者 木南岩男  
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
☎078(371)1261(代)☎650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 足立 誠  
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第694号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成27年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲自然豊かな佐用郡佐用町に位置する(株)佐用精機製作所と代表取締役社長・天野孝泰氏

### Contents

#### ■ 県連合会Letter 2~3頁

- ・ 県青連通常総会
- ・ 県女性連通常総会
- ・ 県商工青年同友会通常総会
- ・ 春の叙勲・褒章、県功労者表彰
- ・ 新任事務局長研修会
- ・ 新任職員研修会

#### ■ あなたのまちの元気な企業(佐用町) 4頁

#### ■ 商工会Letter 5~6頁

- ・ 丹波まちゼミ (丹波市)
- ・ 国道29号線の魅力 (宍粟市)
- ・ 福崎町商工業振興基本条例 (福崎町)

LED半導体加工会社  
株式会社佐用精機製作所 (佐用町)

(株)佐用精機製作所は、昭和39年に先代の社長が創業。プレス加工の内職から始まった会社である。現在は、2代目である天野孝泰氏が社長を務め、LED等の試作品の製作から量産、および半導体の加工、組立加工のサービス、また組立に必要な治工具や製作設計を行っている。大手企業を主要取引先とし、LEDだけでなく、様々なジャンルの商品開発に携わってきた実績を持つ。

現在は、ものづくり補助金を活用し、新たな技術開発に取り組んでいる。

(詳細は4頁)

# 県青連 通常総会を開催 新会長誕生

県商工会青年部連合会（和島将志会長）は4月24日、ホテル北野プラザ六甲荘において第48回通常総会を開催。第1号議案から第6号議案まで原案どおり承認された。

4号議案では、11月開催の青年部全国大会（兵庫大会）の収支予算を決定。また6号議案では、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に豊岡市の久保田一三氏が就任した。



▲県青連・和島会長(左)から久保田新会長(右)へバトンタッチ

引続き行われた研修会では、全青連会長 宮本博史氏、顧問 宮本周司氏を講師に、それぞれから話を聞いた。

研修会終了後は交流会が行われ、会場は大いに盛り上がった。



▲講師の宮本周司顧問



▲講師の全青連宮本博史会長

# 県女性連 通常総会・第1回幹部講習会 主張発表大会(県大会)を開催

県商工会女性部連合会（坂本ひとみ会長）は4月21日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第48回通常総会を開催。提出された議題1〜4号議案はいずれも原案どおり可決された。また第4号議案では、

肥野美千子氏、養父市の濱田房子氏、淡路市の戸田好美氏が選任され、常任理事には加東市の横山純子氏、たつの市の菅原千代美氏、篠山市の隅田治美氏、芦屋市の女性部長が選任された。なお、芦屋市の女性部長は役員改選により、5月20日の芦屋市商工会女性部通常総会にて決定する。また、当日は総会に先立ち、第1回幹部講習会を開催。県内7ブロックの代表による主張発表大会が行われた。



▲県下各地から参加した女性部員

任期満了に伴う役員改選が行われ、坂本ひとみ会長の留任が決定。また、副会長には福岡町の



▲最優秀賞の大対礼子氏

性部・大対礼子氏が受賞。「女性部活動と地域振興・まちづくり」をテーマとした女性部の『絆』と題し、地域のために女性部として何ができるかを考えて活動してきた取り組みが評価された。優秀賞は、播磨町商工会女性部・樋口真也氏が受賞した。大対氏は、県の代表として8



▲同友会・挨拶を述べる今北義明会長

県商工青年同友会は4月17日、ホテル北野プラザ六甲荘において、第37通常総会を開催。第1号議案から第2号議案まで原案どおり承認された。



▲講師の山本和行氏

研修会終了後は、交流会が行われ、会場は大いに盛り上がった。

# 県商工青年同友会 通常総会

## 6月のこよみ

- 11日(木)・16日(火) 財務分析・資金調達研修会
- 26日(金)・27日(土) チーフコーディネーター研修会
- 27日(土) 県職協総会・第4回経営支援事例発表大会

## 7月のこよみ

- 1日(水)～2日(木) 地域経済活性化支援費補助金等担当者研修会
- 9日(木)～10日(金) 商工会理事・金融審査委員等合同研修会
- 9日(木) 青年部幹部講習会
- 17日(金) 管理職養成研修会
- 23日(木)～24日(金) 商工会管理者研修会
- 29日(水) 経営支援コミュニケーションスキル向上研修会

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。

ご融資の相談は  
お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずねください。

いまでも これからも いつまでも  
兵庫信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 3-4-17  
TEL 078-391-6315  
http://www.hyogokenshin.co.jp/

春の叙勲・褒章

商工会関係者から4人が受賞

旭日双光章



兵庫県商工青年同友会 顧問  
太子町商工会 顧問  
朝生 一郎氏

旭日单光章



佐用町商工会  
筆頭理事  
春名 和光氏

県功労者表彰

産業振興功労



淡路市商工会 会長  
西 啓次郎氏



吉川町商工会 会長  
藤田 謙氏

商工会の使命と事務局長の責務など

新任事務局長を対象に研修

県連合会は、4月22日に神戸市・兵庫県商工会館において平成27年度新任事務局長研修会を開催した。  
本研修会は、商工会新任事務局長を対象に、商工会組織運営

及び経営改善普及事業における商工会事務局の管理者としての全般的な知識を付与し、その能力の向上を図ることを目的として、平成17年度より開催。4月1日に就任した5名の新任事務局長が出席した。  
研修会では、足立専務理事が開会挨拶を述べたあと、研修1では「商工会を取り巻く環境と事務局長としての心構え」につ

いて、宮地事務局長より説明し、研修2においては、「商工会組織が抱える課題と運営」について福本事業部長から説明があった。  
午後からの研修3は、「兵庫県施策と県補助金の概要」について県経営商業課 久保田寛経営支援班長が、研修4では県連合会主任チーフアドバイザーの上山修一氏から「地域で商工会が果たす役割」と題してそれぞれ講義があり、参加者は熱心に聞き入っていた。  
その後の意見交換会では、県

新任職員研修会

職員的心構えなどを学ぶ

県連合会では4月15日、16日の2日間、兵庫県中央労働センターで「商工会新任職員研修会」を開催した。  
同研修会は、新任職員15名が参加し、商工会職員としての心構えや社会人としてのビジネス

マナーを勉強した。1日目の午前は県連合会足立専務から、「商工会を取り巻く環境」と題して、全国連作成の商工会職員ハンドブックをテキストに、商工会の使命と職員のあり方を学んだ。また午後からは兵庫県文書課岸本美都子氏を講師に、事務文書の取り扱いについて学び、続いて神戸中総務部長が定款、規約、規程等を解説。福本事業部長からは商工会員の増強をはじめ商工会の運営等について説明があった。  
研修2日目には(株)RAINB

OW DREAM代表取締役の細見麻規氏がビジネスマナーの基礎について講義。電話対応の演習では想定される様々なケースを講師が出题し、電話の取次ぎ方やメモの仕方など、厳しい指導のもと実践的研修内容であった。そのため社会人経験のある者でも、知ってはいるが、できていなかったという反省点多かった模様。  
2日間の研修を通じて、参加した職員からは「職員として、会員の方々のお話を聞きながら多くの提案をしていきたい」、「会員増強についての取り組み

等を自ら考え、積極的に行動していきたい」など、それぞれに抱負を語り合った。



▲熱心に研修に取り組む新任職員

あなたのまちな元気な企業

# 株式会社 佐用精機製作所 (佐用町)

## 時代のニーズに対応した技術力と提案力

### 主要サービスと

#### その特色

㈱佐用精機製作所は、試作サンプルを一個から製作し、提案を行う「試作支援サービス」、量産化するまでの工程、歩留まりなどの改善を前提とした量産までのつなぎを行う「開発支援サポート」また、LED、LD、フォトセンサ等の「量産支援サポート」の3つのサービスを大きな柱としている。

品の評価用サンプルの製作や評価等の受注が多い。

これまで、同社が長年大手電機メーカーの協力会社だったこともあり、数多くの企業から信頼を得ているとともに、試作に対する提案力が同社の強みである。

### 環境への配慮と

#### 時代対応

京都議定書に伴う時代の変化への対応と、地球環境への配慮として、同社は平成17年に神戸環境マネジメントシステム(EMS)の認証を取得した。

昨年、日本人三名が青色LEDについてノーベル物理学賞を受賞したこともあり、今後、益々LEDは注目を集める中で、同社はLED・LDを使用した試作製品、少量生産、製造・販売に関わる全ての活動に対し、環境負荷を低減するために、環境マネジメント活動の継続的改善を図ることを掲げている。

### 積極的な技術開発と 試作品開発への取り組み

表紙の紹介欄にも記したとおり、同社はものづくり補助金の採択を受け、LEDの新しい技術開発に取り組んでいる。さらに、従来の製品よりも伝熱効率の良い素子開発にチャレンジしていきたいと、天野社長は語る。また、それを裏づけるように、同社は播磨科学公園都市にある世界最高性能の大型放射光施設であるSpring-8(スプリングエイト)を使用した実績を持つ。

今後は、同施設に隣接するX線自由電子レザー設備であるSAC LA(サクラ)関連の試作品受注にも注力していきたいとのことである。

これらの実績もあり、数多くの大学から、試作品開発の依頼を受けている。

### 地域と これからの 対する思い

創業から50年以上続く同社。社名にも地域の名前を冠しているとおり、天野社長は、永くこの地域で頑張っていきたいと熱い思いを述べられた。

しかし一方では、大手企業も外注ではなく、工場の一部を派遣労働者に貸すことにより、経費を抑えているため、従来の加工請負の考え方が先代社長の時代とは大きく変わってきていることに対する懸念もあるという。そこで天野社長は、従業員に対して、今以上の提案力と理解力向上といったスキルアップに力を注いでいる。言い換えれば、お客様の思いを言葉にすることが出来る力、突き詰めれば、コ

#### 【企業概要】

企業名/株式会社佐用精機製作所  
代表者/天野 孝泰  
創業/昭和39年  
所在地/佐用郡佐用町円應寺335-1  
☎0790-82-2227  
FAX0790-82-3824

今後、佐用町商工会としても、同社のように地元の雇用を支える地域の中堅企業に対して、専門家派遣による営業力強化指導や技術指導といった経営改善や発展に繋がる様々な情報発信を強化していきたいとしている。



▲実績ある過去のサンプル品の紹介



▲フォトセンサーの加工作業風景

# お店の魅力を再発見する 「丹波まちゼミ」を実施

丹波市商工会

丹波市商工会（大地但会長）は、4月11日から4月19日にかけて「丹波まちゼミ」を実施した。

まちゼミとは、お店の人が講師となって、プロならではのコツ、遣い方や楽しみ方を教えてくれるゼミナールのこと。「丹波にも楽しいお店が沢山ある」「元気の店員さんやユニークな職人さんに出会っていたら、お客さんに楽しんでもらい、さらに参加店舗のファン作りに活用してほしい」という目的で実施した。

同事業には会員事業所25店舗が参加。店舗は、お菓子屋さん、新聞社さん、布団屋さん、着物



▲熱心に取り組む参加者たち



▲まちゼミの講座風景

屋さん、造園屋さん、設備屋さんなど多岐にわたった。

各店舗には、どんなことをやれば沢山の方に響くのかを真剣に考えてもらい実施した結果、新聞折込から数日で、多くの事業所で満員となり、新たに別の時間帯を設け対応するところもあった。商工会としてまだすべての事業所から実施後の結果を聞いたわけではないが、今回の取り組みが、「顧客の獲得に繋がる」「参加してくれた方が後日、お客さんとして来てくれた」といった感想も届いている。

同商工会では今後も、地域を知る強みを活かし、会員事業所が持続的に発展できるように事業を実施していきたいとしている。

## ひょうご支援の扉

手段が目的になつていませんか？



篠山市商工会  
北島 篤

補助金申請などを通じて経営計画の作成支援をしていると、いつの間にか本末転倒に陥ることがあります。先日問題の本質は何か、見極めることが大事だとつくづく感じるようになりました。

アベノミクス第三の矢である『民間投資を喚起する成長戦略』を促進するための多様な補助金の効果もあつてか、以前は案件発掘に苦慮していたのがウソのように、経営支援の相談を事業者からいただくことが増えてきました。第一声の多くは「〇〇補助金というのは、うちでも使えるのか？」といった問い合わせです。

先日、部下が補助金の相談に応じる場面に同席したのですが、彼は事業者の相談内容をじっくりと傾聴していただきました。ひとしきり聞いた後、内容を解きほぐし、掘り下げていくうちに、なんと本当に実現したいことは別にあり、それを達成するのに「補助金を申請する必要がないこと」に


事業者自ら気づかれました。

相談のきっかけは補助金だったので、問題の本質は別にあつたのです。もし、私に対応していたら、問題の本質にたどり着けたか？補助金申請を目標に話を進めていたのではないかと考えさせられた場面でした。

最近、◎商工会は補助金採択数〇件、経営革新〇件、専門家派遣回数〇件…といった数字を取りまとめられ、小規模事業者持続化補助金の採点結果を分析して示されるなど、各単商の取り組み状況が数字で分かるようになってきました。足りない部分を発見し、どの様に対応するかを検討するに良い材料を示していただいているのですが、私自身は知らず知らずのうちに数字を追うようになっていたのかもしれない。

「手段が目的になつていませんか？」よく耳にするフレーズですが、特に補助金の相談に対応していると、補助金を獲得することが目的になってしまっていることもよくあります。相談者に上手く伝わりません。相談者にもありません。問題と課題は何なのか？どうすればそれを解決できるのか？と本質を見極めるよう心がけ、支援にあたりたいと思います。

確実にやるのは  
どこでもできる。  
確実に速くやるからこそ  
「価値」になる。



**三井住友銀行**  
LEAD THE VALUE  
三井住友フィナンシャルグループ

# 但馬銀行

## TAJIMA BANK

〒668-8650 兵庫県豊岡市千代田町1番5号  
TEL 0796-24-2111  
URL <http://www.tajimabank.co.jp/>

私の再発見

# 国道29号線の魅力 ～国道29号線バイクロード・ ツーリングマップ作成事業～

国道29号線は、姫路市青山から鳥取県鳥取市までを結ぶ総延長120.7kmの一般国道で、全線開通は1965年（昭和40年）である。山陽地方と山陰地方を連絡する路線として、古くから播磨から因幡への交通の主要を担ってきた。

当時は山間部でもマイカーが各家庭に普及しはじめており、休日にはお父さんが運転し、家族そろってのドライブを楽しんだ方も多々おられたのではないかと。そういう私も父親の運転する自家用車で国道29号線を2時間近くかけ、鳥取県にある子どもも国や砂丘に連れて行ってもらった記憶が鮮明に蘇る。



▲国道29号線のツーリング風景

京阪神間から鳥取県までの移動時間は格段に短縮した。日帰りでどこか半日での観光も十分可能となったが、物流においては国道29号線を利用したトラックを含む商業車の利用が極端に減ってきていることも事実であり、国道沿いの飲食店等の店舗が廃業せざるを得ない状況まで追い込まれてきている。

このような状況とは反対に自動二輪と自転車の通行量は年々増えてきていることは、目に見えて判るとともに国道事務所の通行量統計からも判断できる。ならば…このライダーに、国道29号線は勿論のこと、枝分かれしている他の国道と県道のツーリングマップ並びにビュース

ポットを紹介したいと考え、「まちおこし支援事業」を活用したマップ作りに取り掛かった。

兵庫県市役所商工観光課にバイク愛好家の職員がおられ、この職員が所属するグループにも協力をいただいた。バイクと自動車にて実走行を行い、市内のルート確認や名勝・景観・施設などを撮影したツーリングマップ「Ride on SHISO」が完成し、市内のコンビニ・道の駅（4か所）及び温泉施設に配布した。

バイク愛好家はとても紳士的（ジェントルマン）であり、カメラを片手に取材しても快く笑顔でバイクのことや国道29号線の走りやすさ、すばらしい景観を語ってくれた。地元の人間でありながら逆に教えていただいたこともあった。

何もないのを嘆くのではなく、あるがままの自然を利用した観光も、またいいのではないかと。

これから新緑の好シーズンが始まる。ライダーのみならず、自家用車でのお出かけの際は、ぜひ国道29号線を走って欲しい。新しい発見があるはず。

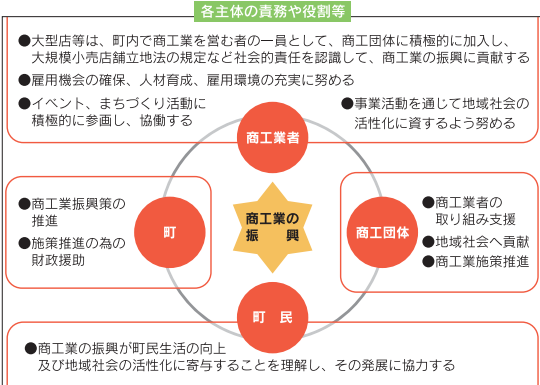
（兵庫県商工会 稲垣幸祐）

## 福崎町商工会

# 「福崎町商工業振興基本条例」を制定

福崎町商工会（谷口守男会長）は、昨年の6月20日に成立した国の「小規模企業振興基本法」の施行後、福崎町に条例の制定を要望し、他市町に先駆け同町は「福崎町商工業振興基本条例」を3月に制定、4月1日施行した。同条例は地域経済活動の主体として、地域貢献を義務に大企業者と中小企業者が共存共栄しつつ、地域経済の循環を図り、行政、住民も含め一体となった福崎町の町づくりを継続的に進めることを目的としたもの。

同条例では、商工業の振興は



商工業者自らの創意工夫及び自助努力を基に、町、商工業者、商工団体及び町民が協働して推進するため、

- 創業の支援
- 企業誘致の促進
- 地域商業の魅力向上と販路拡大
- 環境と調和のとれた工業の推進
- 地域資源を活用した魅力発信による観光事業の推進
- 産業を担う人材の育成
- 地域からの雇用の促進
- 中小企業者の経営の革新や受注機会の増大支援
- 小規模企業者の持続的な事業活動の確保

を基本施策としている。そしてその上で、参画と協働による商工業の持続的な振興、行政による財政措置の必要性、商工業者、商工団体、住民の役割や責務を明確に明記している。

今後、同商工会では福崎町へ進出する企業に対し、福崎町商工会への加入促進を図り、組織力を高め、団結を強化、一致協力して地域の経済活性化や町づくりに貢献することを念頭に活動していきたいと考えている。